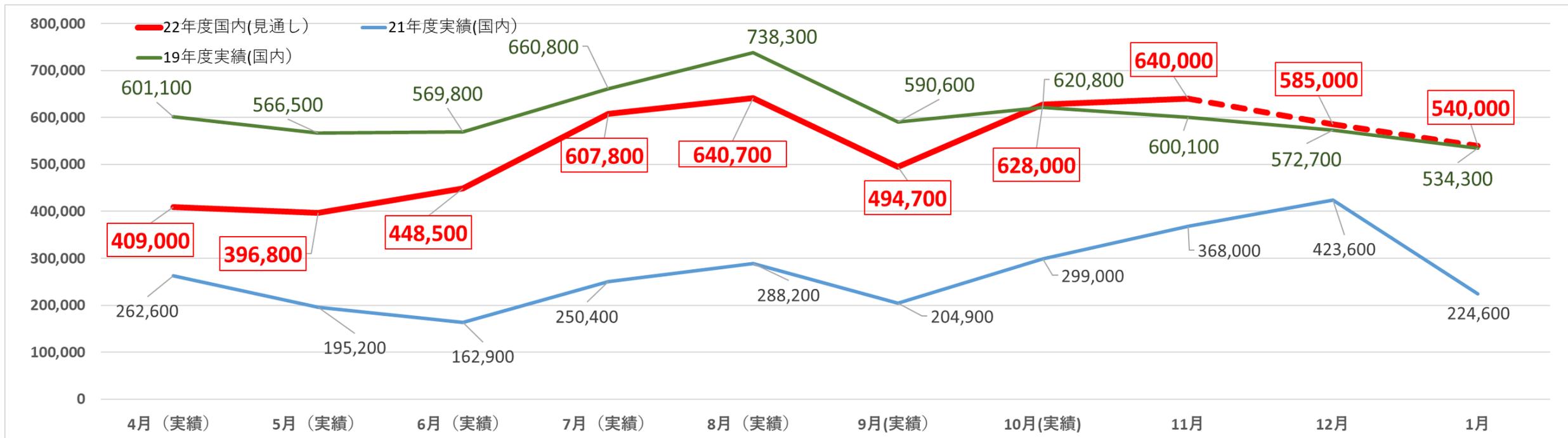


1. 2022年度11月-1月入域観光客数見通し

	4月 (実績)	5月 (実績)	6月 (実績)	7月 (実績)	8月 (実績)	9月(実績)	4-9月 計	10月(実績)	11月	12月	1月	11-1月計	4-1月 計
22年度国内(見通し)	409,000	396,800	448,500	607,800	640,700	494,700	2,997,500	628,000	640,000	585,000	540,000	1,765,000	5,390,500
22年度海外(見通し)	0	0	0	0	100	0	100	2,700	12,000	22,000	22,000	56,000	58,800
対21年度比(国内)	155.8%	203.3%	275.3%	242.7%	222.3%	241.4%	219.7%	210.0%	173.9%	138.1%	240.4%	173.7%	201.2%
21年度実績(国内)	262,600	195,200	162,900	250,400	288,200	204,900	1,364,200	299,000	368,000	423,600	224,600	1,016,200	2,679,400
対19年度比 (国内)	68.0%	70.0%	78.7%	92.0%	86.8%	83.8%	80.4%	101.2%	106.6%	102.1%	101.1%	103.4%	89.0%
対19年度比 (国内・海外)	48.0%	47.5%	51.7%	63.1%	62.7%	61.1%	56.0%	73.8%	80.1%	77.5%	74.2%	75.7%	63.3%
19年度実績(国内)	601,100	566,500	569,800	660,800	738,300	590,600	3,727,100	620,800	600,100	572,700	534,300	1,707,100	6,055,000
19年度実績(海外)	250,300	268,400	298,400	302,800	282,900	218,700	1,621,500	230,500	199,100	182,400	193,500	575,000	2,427,000
19年度実績(国内・海外)	851,400	834,900	868,200	963,600	1,021,200	809,300	5,348,600	851,300	799,200	755,100	727,800	2,405,600	8,605,500



旅行需要は回復基調が続く。11月は10月同様、全国旅行支援(おきなわ彩発見NEXT)による高需要となり、国内客ではコロナ前とほぼ同じ水準まで旅行需要が回復する見込み。12月は全国旅行支援が27日まで延長されたことから、年末年始含めて、コロナ前と同水準の旅行需要が見込まれる。1月4日以降は全国旅行支援の動向が未定のため、需要が弱い状況となっている。国際線(台湾、香港、韓国線)の運航再開路線が堅調に増えており、需要動向も徐々に回復傾向となっている。

- ・11月 : 【国内】 全国旅行支援による高需要が見込まれる。航空便の予約率も好調で、特に東京発沖縄線（離島含む）の需要が高い。
ホテル稼働率も引き続き好調で19年度と同水準で推移。ホテル宿泊単価についても北部・離島リゾート地区の単価が特に高くなっており、シティホテルも堅調。
修学旅行を中心とした団体旅行も回復傾向で、入域観光客数は19年度（国内）とほぼ同様の64万人（19年対比106.6%）となる見通し。
- 【海外】 11月2日より香港航空が香港那覇線の運航再開（週3便）。11月17日よりPeach社が台北那覇線を運航再開（デイリー運航）。
台北線、香港線ともに10月と比較すると需要が堅調に伸びており、空路入域客数は1.2万人（19年度対比 6.0%）となる見通し。
運航再開路線：台北那覇線4社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社（17日～）：デイリー運航、中華航空：週5便運航（火木運休）]
香港那覇線2社[香港エクスプレス：デイリー運航、香港航空週3便（2日～ 水金日運航）]
- ・12月 : 【国内】 全国旅行支援による高需要が見込まれる。年末年始期間の需要も好調でコロナ前と同水準の需要を見込む。航空便の予約率も好調で、特に東京発沖縄線（離島含む）の需要が高い。
ホテル稼働率も引き続き好調で19年度と同水準で推移。ホテル宿泊単価についても北部・離島リゾート地区の単価が特に高くなっており、シティホテルも堅調。
入域観光客数は19年度（国内）とほぼ同水準の58.5万人（19年対比 102.1%）となる見通し。
- 【海外】 大韓航空、チェジュ航空、ティーウェイ航空、アジアナ航空が仁川那覇線の運航再開。台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。
空路入域客数は2.2万人（19年度対比 12.1%）となる見通し。
運航再開路線：台北那覇線4社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社：デイリー運航、中華航空：週5便運航（火木運休）]
香港那覇線2社[香港エクスプレス：デイリー運航、香港航空：14日まで週3便（水金日運航）、15日以降デイリー運航]
仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー（1日～）、ティーウェイ航空（22日～）各社 デイリー運航、大韓航空：週4便（1日～ 月木金日）、アジアナ航空：週4便（23日～ 火木金日運航）]
- ・1月 : 【国内】 全国旅行支援が実施される見通しであるため、入域観光客数は19年度（国内）とほぼ同水準の54万人（19年対比101.1%）と見込む。
【海外】 18日よりエバー航空が台北那覇線を運航再開。台北線、香港線、仁川線ともに需要が徐々に伸びている。空路入域客数は2.2万人（19年度対比 11.4%）となる見通し。
運航再開路線：台北那覇線5社[タイガーエア台湾、スターラックス、Peach社、エバー航空（18日～）：各社デイリー運航、中華航空（12日まで火木運休、13日以降デイリー運航）]
香港那覇線2社[香港エクスプレス、香港航空：デイリー運航]
仁川那覇線5社[チェジュ航空、ジンエアー、ティーウェイ航空：各社デイリー運航、大韓航空：週4便（月木金日）、アジアナ航空：週4便（火木金日運航）]

（ホテルアンケート、航空会社等からのヒアリングをもとに算出、分析）

【お問い合わせ先】

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
企画・施設事業部 企画課 高安・与那国
TEL:098-859-6126 Mail:ocvb_yosoku@ocvb.or.jp